

## 令和6年度 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業)に採択(事業管理機関:財団)

令和6年度Go-Tech事業の公募では、当財団が事業管理機関として申請した2件が採択されました。全国では228件(通常枠)の申請があった中から114件(四国からは3件)が採択されました。

### 採択された事業

研究等実施機関 **大同ゴム株式会社・国立大学法人信州大学**

事業名 **カーボンニュートラルで耐久性が高い工業用ゴムホースの実用化技術の開発**

#### 研究開発の概要

工業用ゴムホースの市場では、高い耐久性を持ち、カーボンニュートラル対応の製品が望まれています。そこで、工業用ゴムホース製造のトップメーカーである大同ゴム株式会社は、信州大学と共同で、天然ゴムに補強用フィラーとして天然素材のセルロースナノファイバーを混合した、ほぼ100%カーボンニュートラル対応可能な耐久性の高い複合材料創製技術を開発し、その技術を用いた「カーボンニュートラルで耐久性が高い工業用ゴムホース」の実用化技術を開発します。



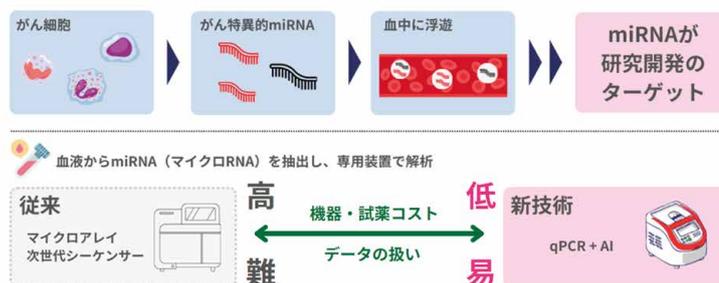
工業用ゴムホースの実用化技術の開発の概要

研究等実施機関 **合同会社Setolabo・国立大学法人香川大学**

事業名 **がんの早期発見を可能にする血中miRNAを用いたqPCR検査によるがん検診技術の開発**

#### 研究開発の概要

がん治療技術が進歩する一方で、先進国ではがんが主要な死因となっており、がんの検診を革新する技術の開発が求められています。そこで、遺伝子検査技術を持つ合同会社Setolaboは、がん細胞が分泌する特定の血中miRNAに焦点を当て、これらをqPCR検査で検出できるように香川大学医学部と共同で、1回の採血で多種類のがんが高精度かつ格安で超早期発見できる検査技術を開発します。



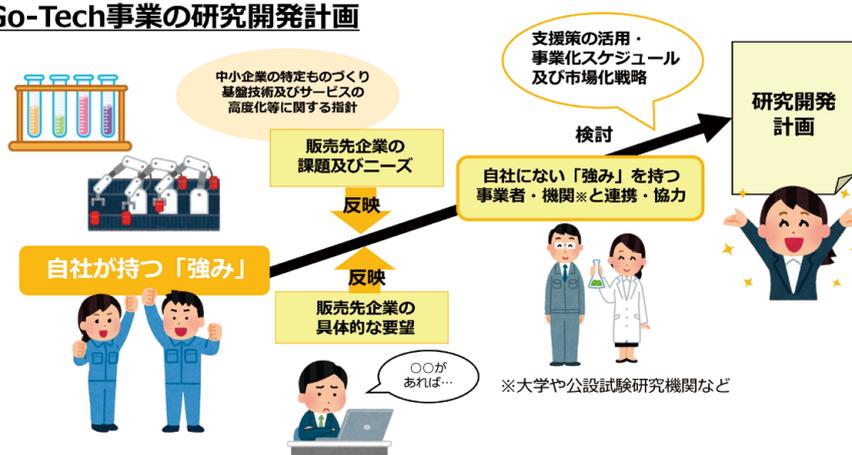
がん検診技術の開発の概要

### Go-Tech事業とは

中小企業等が持つ強みを活かし、研究機関と共同で実施する、事業化につながる可能性の高い研究開発を最大3年間支援する事業です(経済産業省管轄)。補助金額は、3年度の総額で9,750万円以下です。

公募は毎年2月中旬から4月中旬頃に実施されます。申請書類の作成には多くの時間を要します。申請相談は、随時受付しておりますので、詳細はお問合せください。

#### Go-Tech事業の研究開発計画



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課  
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303